

1. 授業の概要(ねらい)

「100人を助けるためなら1人を犠牲にしてよいか」「絶対に嘘をついてはいけないのか」「医療のためなら動物実験をしてもよいのか」等々、あなたが考えたことがあるかもしれない問いは、倫理学者が考えてきた問いでもあります。本講義では、倫理学の基本的な学説である帰結主義、義務論、徳倫理学をはじめとして、応用倫理学の様々なテーマについて学びます。みなさんがあたりまえと思っていたことを問いなおし、これまでよりも深く、別の可能性も考えることができるようにしましょう。

この授業は主に講義形式ですが、教員からの一方的な情報伝達ではなく、ディスカッションの時間を設けると共に、希望者によるプレゼンテーションを行います。

なお、この授業は、総合基礎科目の学修目標2、3に関連します。

2. 授業の到達目標

- ・学生は、講義で取り上げる倫理学者の思想内容を理解し、自分の言葉で説明できる。(知識・理解)
- ・学生は、論理的・批判的に思考できる。(技能)
- ・学生は、批判的読解ができる。(技能)
- ・学生は、プレゼンテーションができる。(技能)

3. 成績評価の方法および基準

- ・定期試験:80%、講義への積極的な参加(意見を言う、テキストを読む、発表、総括):20%
- ・毎回の講義にある考察の時間でフィードバックを行いません。また、発表についてフィードバックを行いません。

4. 教科書・参考文献

教科書

LMS 上で講義プリントを配布します。

参考文献

柘植尚則編 『入門・倫理学の歴史——24人の思想家——』 梓出版社、2016年

ISBN:978-4872620382

児玉聡 『功利主義入門——はじめての倫理学』 筑摩書房、2012年

ISBN:978-4480066718

伊勢田哲治 『動物からの倫理学入門』 名古屋大学出版会、2008年

ISBN:978-4815805999

伊勢田哲治、神崎宣次、呉羽真編 『宇宙倫理学』 昭和堂、2018年

ISBN:978-4812217382

森村進 『幸福とは何か——思考実験で学ぶ倫理学入門』 ちくまプリマー新書、2018年

ISBN:978-4480683298

稲原美苗・川崎唯史・中澤暉・宮原優編 『フェミニスト現象学入門——経験から「普遍」を問い直す』 ナカニシヤ出版、2020年

ISBN:978-4779514265

5. 準備学修の内容

- ・第2～11回:毎回の講義の教材は、前もってLMSに掲載されます。その回の講義内容にある問い(例:絶対に嘘をついてはいけないのか)について考え(30分)、LMSの教材を使って予習をして講義に臨んでください(30分)。また、事後学修として、試験に向けて講義内容を要約してください(120分)。
- ・第12・13回:発表希望者は発表準備をしてください(180分)。
- ・第14回:総括希望者は担当する回の講義内容を要約し、短い考察を用意してください(180分)。

6. その他履修上の注意事項

- ・「哲学」「技術業倫理」とあわせて受講することが望ましいですが、必須条件ではありません。
- ・本講義では、LMS で資料を配付し、アンケート機能等を使用します。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(倫理学とは何か)
- 【第2回】 帰結主義(100人を助けるためなら1人を犠牲にしてよいか)
- 【第3回】 義務論(絶対に嘘をついてはいけないのか)
- 【第4回】 徳倫理学(徳のある人とはどういう人か)
- 【第5回】 動物倫理(医療のためなら動物実験をしてもよいのか)
- 【第6回】 ロボット倫理学(介護をロボットに任せてよいか)
- 【第7回】 宇宙倫理学(宇宙にゴミを捨ててもよいのか)
- 【第8回】 幸福論(幸福とは何か)
- 【第9回】 道徳的運(道徳的であることに運は関係するか)
- 【第10回】 ジェンダー論(男と女を何が分けるのか)
- 【第11回】 反出生主義(生まれてこない方がよかったのか)
- 【第12回】 プレゼンテーション①
- 【第13回】 プレゼンテーション②・総括について
- 【第14回】 総括
- 【第15回】 試験とまとめ